

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
0	建築物の環境品質							2.9
Q1	室内環境							3.0
1	音環境			3.2	0.15	-	-	3.2
1.1	騒音			3.0	0.40	-	-	
1.1.1	室内騒音レベル			3.0	1.00	-	-	
1.1.2	設備騒音対策			-	-	-	-	
1.2	遮音			3.0	0.40	-	-	
1.2.1	開口部遮音性能			3.0	0.60	-	-	
1.2.2	界壁遮音性能			3.0	0.40	-	-	
1.2.3	界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	-	-	-	
1.2.4	界床遮音性能(重量衝撃源)			-	-	-	-	
1.3	吸音	事務室の床・天井に吸音材を使用している		4.0	0.20	-	-	
2	温熱環境			2.5	0.35	-	-	2.5
2.1	室温制御			3.3	0.50	-	-	
2.1.1	室温			2.0	0.38	-	-	
2.1.2	負荷変動・追従制御性			-	-	-	-	
2.1.3	外皮性能			3.0	0.25	-	-	
2.1.4	ゾーン別制御性	マルチユニット型(冷暖同時)を採用、40m以下の空調ゾーンングを実施		5.0	0.38	-	-	
2.1.5	温度・湿度制御			-	-	-	-	
2.1.6	個別制御			-	-	-	-	
2.1.7	時間外空調に対する配慮			-	-	-	-	
2.1.8	監視システム			-	-	-	-	
2.2	湿度制御			3.0	0.20	-	-	
2.3	空調方式			1.0	0.30	-	-	
3	光・視環境			3.0	0.25	-	-	3.0
3.1	昼光利用			3.0	0.30	-	-	
3.1.1	昼光率			3.0	0.60	-	-	
3.1.2	方位別開口			-	-	-	-	
3.1.3	昼光利用設備			3.0	0.40	-	-	
3.2	グレア対策			3.0	0.30	-	-	
3.2.1	照明器具のグレア			-	-	-	-	
3.2.2	昼光制御			3.0	1.00	-	-	
3.2.3	映り込み対策			-	-	-	-	
3.3	照度			3.0	0.15	-	-	
3.4	照明制御			3.0	0.25	-	-	
4	空気質環境			3.7	0.25	-	-	3.7
4.1	発生源対策			4.0	0.50	-	-	
4.1.1	化学汚染物質	F を全面的に使用		4.0	1.00	-	-	
4.1.2	アスベスト対策			-	-	-	-	
4.1.3	ダニ・カビ等			-	-	-	-	
4.1.4	レジオネラ対策			-	-	-	-	
4.2	換気			3.0	0.30	-	-	
4.2.1	換気量			3.0	0.33	-	-	
4.2.2	自然換気性能			3.0	0.33	-	-	
4.2.3	取り入れ外気への配慮			3.0	0.33	-	-	
4.2.4	給気計画			-	-	-	-	
4.3	運用管理			4.0	0.20	-	-	
4.3.1	CO ₂ の監視			3.0	0.50	-	-	
4.3.2	喫煙の制御	全館禁煙である		5.0	0.50	-	-	
Q2	サービス性能			-	0.30	-	-	3.2
1	機能性			3.1	0.40	-	-	3.1
1.1	機能性・使いやすさ			3.0	0.40	-	-	
1.1.1	広さ・収納性			3.0	0.33	-	-	
1.1.2	高度情報通信設備対応			3.0	0.33	-	-	
1.1.3	バリアフリー計画			3.0	0.33	-	-	
1.2	心理性・快適性			4.0	0.30	-	-	
1.2.1	広さ感・景観	事務室の天井高2.7m以上		4.0	0.33	-	-	
1.2.2	リフレッシュスペース	執務スペースの1%以上のリフレッシュスペースがある。自動販売機の設置をしている。		5.0	0.33	-	-	
1.2.3	内装計画			3.0	0.33	-	-	
1.3	維持管理			2.5	0.30	-	-	
1.3.1	維持管理に配慮した設計			3.0	0.50	-	-	
1.3.2	維持管理用機能の確保			2.0	0.50	-	-	
1.3.3	衛生管理業務			-	-	-	-	
2	耐用性・信頼性			3.0	0.31	-	-	3.0
2.1	耐震・免震			3.0	0.48	-	-	
2.1.1	耐震性			3.0	0.80	-	-	
2.1.2	免震・制振性能			3.0	0.20	-	-	
2.2	部品・部材の耐用年数			2.9	0.33	-	-	
2.2.1	躯体材料の耐用年数			3.0	0.23	-	-	
2.2.2	外壁仕上げ材の補修必要間隔			2.0	0.23	-	-	
2.2.3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔			3.0	0.09	-	-	
2.2.4	空調換気ダクトの更新必要間隔			3.0	0.08	-	-	
2.2.5	空調・給排水配管の更新必要間隔	消火管(SGP白)・給水管(SUS)・給湯管(SUS) Cを採用		4.0	0.15	-	-	
2.2.6	主要設備機器の更新必要間隔			3.0	0.23	-	-	

2.4 信頼性			3.4	0.19	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
3	電気設備	非常用発電設備を設置、電源設備・精密機械の地下空間への設置を避けている	4.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法	耐震クラスA	4.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			3.4	0.29	-	-	3.4
3.1 空間のゆとり			4.6	0.31	-	-	
1	階高のゆとり	階高4.4m	5.0	0.60	-	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.24	4.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	-	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.38	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.7
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.5
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.0
1 建物の熱負荷抑制		PAL低減率:28.1%	4.6	0.30	-	-	4.6
2 自然エネルギー利用			3.5	0.20	-	-	3.5
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用	太陽光パネルを設置	4.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化		LED照明設備、太陽光発電設備を採用、ERR=28%	4.6	0.30	-	-	4.6
集合住宅以外の評価(ERRによる評価)		ERR=5.4%	4.6	-	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.2
1 水資源保護			3.4	0.15	-	-	3.4
1.1	節水	節水コマに加え、節水型便器を採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.3	0.63	-	-	3.3
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	再生クラッシュラン(路盤材利用)	3.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.05	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取り組み	GL工法を採用	5.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.22	-	-	3.0
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.68	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率:85%	3.5	0.33	-	-	3.5
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害・砂塵・日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2	壁光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	